Nuphar japonicum

花 コウホネ

スイレン科

使用部位

季節

夏

入手困難

流通量（少）

池坊

使用量	（中程度）　1/4が年に１度はお稽古で使用する
使用時期（お稽古）	７～８月頃
本数	お稽古で一人あたり、花２本葉５本で使用することが多い
葉、枝	５０cm位
花	５０cm位
特徴	夏の水辺の涼感を表すため、ポンプで水揚げをして使用する。水の蒸散を防ぐためワセリンなどを葉の裏表に塗布する。もっと多く流通するなら、より多く使用したい。

小原流

使用量	（中程度）　中級以上で年に１度から２度
使用時期（お稽古）	７～９月
使用時期（試験）	夏は中級以上で１度使われるが、秋口は上級者のみ
本数	花２、葉８　巻き葉２で使うことが多い
葉、枝	秋口花が実になって使うこともある
特徴	流の決まりの花型があるので、年に１度は中級以上で生けられる。ポンプを使って水あげをして生ける。

龍生流　＊龍生派では古は古典花、自は自由花を指します。

使用量	（少ない）　1/5のクラス年１回、又は以下
使用時期（お稽古）	７月
使用時期（試験）	７月
本数	花２　　葉９～１２
葉、枝	葉：巻葉１５～２０cm　開葉：３０～４０cm
花	２０～３０cm
特徴	自：時期が短く、稽古もできない年も増えている。3/5のクラス程度は使用したい花材。

生産者情報

産地名	地域	連絡先／担当	備考
有限会社沖縄北部花卉園芸組合	沖縄県国頭郡金武町	03-3799-5526（市場）FAJ 切花部	
杜若園芸	京都府城陽市	0774-55-7977	http://www.tojaku.co.jp/aquatic_plant/